

## 茨城大学と鹿島アントラーズの提携協定締結

### 1. 経過と背景

- ・茨城大学と鹿島アントラーズは、平成 16 年から両者の提携事業について協議を重ねてきました。この度、鹿島アントラーズがカシマサッカースタジアムの指定管理者に選定されたことを受けて、12月22日に両者で提携協定を締結し、提携事業を開始することとしました。
- ・茨城県では、県の施設管理について平成 18 年 9 月 1 日までに指定管理者制度へ移行することにし、カシマサッカースタジアムを始めとする県所有の 32 施設について公募を行いました。鹿島アントラーズは、カシマサッカースタジアムの指定管理者に名乗りを上げ、地域を対象にした総合スポーツプログラム等を実施することとし、その柱の 1 つとして茨城大学との教育・研究面での提携事業に取り組みたいと提案した次第です。
- ・茨城大学は、鹿島アントラーズの姿勢に共鳴し、自らが掲げる「地域に支えられ、地域に頼りにされる大学」を目指す活動の柱の 1 つとして、この提携事業に前向きに取り組む所存です。特に、Jリーグで常にトップレベルをいくプロサッカーチームと協力することは、学生や受験生へのインパクトが大きく、茨城大学の新しい活力が生まれるものと強く期待しています。

### 2. 茨城大学の基本的方針

茨城大学は、「地域に支えられ、地域に頼りにされる大学」を目指しています。今回アントラーズから提案された提携は、同じような考え方に沿ったものであり、茨城大学としても可能な限り協力して発展性のある実りある提携を目指したいと考えています。

そのため、鹿島アントラーズと茨城大学及び地域住民の三者がともに成果のある企画の実現を目指します。茨城大学は去る 10 月 3 日に鹿嶋市との間で連携協力協定を締結したことであり、鹿嶋市と茨城県をはじめ地域の方々の意見を交換しながら、双方で協力できる企画を推進する計画です。

### 3. 提携事業企画の 5 つのテーマ

一般的な提携事業としては次の 5 分野を考えています。この中から実現性の高いものを選んでスタートし、順次提携事業を広げる予定です。当面、実現性の高い分野は、1)、2)、5)と考えています。

- 1) カシマスタジアムの利活用事業

- 2) 提携教育事業
- 3) スポーツ指導者人材育成
- 4) 地域のスポーツ振興、総合型地域スポーツクラブ形成支援
- 5) 研究事業

以下では、茨城大学が考えている提携事業の内容の例について示しますが、この中のどれを具体化するかは、今後の協議によって決める予定です。

### 3.1 カシマスタジアムの利活用事業

カシマスタジアムの部屋を利用してオープンカレッジ（公開講座）や講演会を開催します。それによって、試合のない日でも市民の方々にカシマスタジアムに足を運んでいただけるようにする計画です。公開講座の内容については、アントラーズの特徴を生かして「スポーツ」「健康」「身体」を中心テーマにして検討していますが、食や環境問題などより幅広い分野も考えています。講師陣は、茨城大学教員、外部講師、アントラーズスタッフを組み合わせる予定です。

(テーマの例)

- 1) 「プロスポーツ選手の身体管理」
- 2) 「世界で活躍するサッカー選手の体験談」
- 3) 「鹿嶋市総合型地域スポーツクラブを考える」
- 4) 「体力をつくる：フィットネスケア」
- 5) 「食と健康」
- 6) 「霞ヶ浦など地域の環境問題」

### 3.2 提携教育事業

この事業は、茨城大学とアントラーズの人材を活用して、双方にメリットのある教育活動を行うものです。

例えば、茨城大学の講義へのアントラーズ講師の派遣（スポーツ経営学や選手による講義）、アントラーズ選手の茨城大学の講義聴講（教養科目、語学など）、公開講座への参加などが考えられます。

現在、茨城大学の多くの学生がボランティアやアルバイトとしてアントラーズの運営を支えているので、それを教育プログラムとして制度化し、学生がアントラーズの運営・サポートに参加するインターンシップ制度も計画されています。

### 3.3 スポーツ人材育成

アントラーズスタッフによるコーチング・スポーツ指導者養成への協力などが内容として考えられています。

### 3.4 地域のスポーツ振興、総合型地域スポーツクラブ形成支援

サッカー育成事業への協力を含む地域におけるスポーツ振興に取り組む予定です。鹿島地域で計画されている総合型地域スポーツクラブの具体化などへの協力が考えられています。このような地域の社会力の強化は茨城大学が進める地域連携事業の主要分野の1つでもあります。

### 3.5 研究事業

アントラーズが指向する、環境を重視したカシマサッカースタジアムの運営を強く支持し、茨城大学の教員・研究者がもつ専門知識・ノウハウを使って、ゴミ減量やCO<sub>2</sub>排出削減、緑の配置などに関する企画立案や環境保全効果の評価に取り組みます。またアントラーズが地域から一層強い支持を得られるように、アントラーズが地域社会に与えたインパクト等を調査し、今後の展開方向の検討に協力します。

(以上)

# 茨城大学＝アントラーズの提携事業 企画案

\* 例として茨城大学の案を示すものであり、どれを具体化するかは今後の両者の協議によって決まるものです

